

Happyson
津本式
取扱説明書
充電式ウロコ取り器
品番 YH-370

このたびは、ハビソン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
■この取扱説明書は大切に保管してください。

- 【特長】
- ・約 40 cmの真鯛のウロコを 2 分程度で取れる。
 - ・まことにありがとうございます。
 - 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
 - この取扱説明書は大切に保管してください。

便利メモ	販売店名	電話	()	—
山田電器工業株式会社				
〒571-0045 大阪府門真市真島町 1 番 3 号				

仕様 / アフターサービスについて

■仕様	
使用電池	リチウムイオン電池 3.6V 3000 mAh 10.8 Wh
回転数	約 3000 回転/分
使用温度範囲	0 ～ 40 ℃
電池寿命	満充電時、魚 10 匹のうろこを処理可能 (40 cm の真鯛 1 匹の処理時間を 2 分と仮定) 20℃ 時
充電時間	約 4 時間
充電温度範囲	0 ～ 40 ℃
定格入力	DC 5V-1A (USB Type-C)
充放電回数	約 300 回
外形寸法	約 58×76×197 (mm)
質量	約 320 g
防水性	IPX7

■アフターサービスについて

〇不具合等ございましたら下記お問い合わせ窓口にご連絡ください。

ハビソン
お問い合わせ窓口 ☎ 0120-810-575
お土・日・祝日を除く 9:00～17:00 >

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
山田電器工業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談窓口へのご相談への対応や修理、確認などのために利用し、その記録を保持することがあります。なお、個人情報を適切に管理し、第三者等へ提供する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

Happyson ホームページ
https://happyson.com

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- ▲危険 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
▲警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
▲注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- ▲危険
- 分解や改造をしない (製品廃棄時の分解はのぞく)
 - 故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因となります。
 - 火の中に投入したり加熱したりしない
 - ・高温での充電、使用、放置しない
 - ・電子レンジやオーブンなどで加熱しない
 - 発熱・発火・破裂の原因となります。

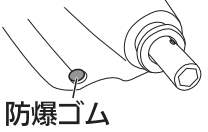
- ▲警告
- 異常、故障時には直ちに使用を中止する異常とは次のような内容です。
 - ・煙が出たり、異常なおおきく音がする・本体が破損した
 - ・内部に水や異物が入った
 - ！そのまま使うと火災・感電の原因になります。
 - 異常があるときは電源を切って、販売店にご相談ください。

- ▲警告
- 用途以外では使用しない
 - 子どもに使用させたり手の届くところで保管しない
 - 誤使用による破損やケガの原因となります。
 - 端子カバーが確実に閉まっていることを確認する
 - USB プラグや接続端子に金属片等の異物の侵入がないこと、破損していないことを確認してから充電する
 - ！守らないと水や異物の侵入により、ショートや発熱し火災・故障の原因となります。
 - ぬれた接続端子に USB プラグを接続しない
 - ぬれた USB ケーブルは使用しない
 - ショートや発熱による火災・故障の原因となります。
 - ぬれた場合は通電せずに乾いた布で水分をふき取り、完全に乾かしてからご使用ください。
 - 髪や衣服、アクセサリー等が巻き込まれないように以下の点に注意する
 - ・長い髪は帽子やヘアカバー等で覆う・作業中はアクセサリーをはずす
 - ・袖のある服で作業する場合は袖まくりする
 - タオル等の巻き込む可能性のあるモノの近くに置かない
 - 作業場所は十分に明るくする
 - 加工する魚はしっかりと固定して作業する
 - ！思わぬケガや故障の原因となります。
 - 包丁研ぎの際、包丁の刃先を砥石に直角に当てない
 - 包丁研ぎの際、砥石カバーを取り付けずに使用しない
 - ケガの原因となります。

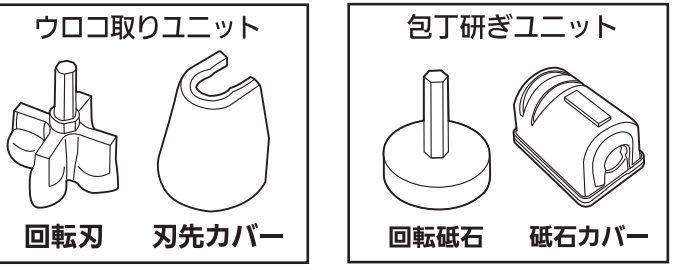
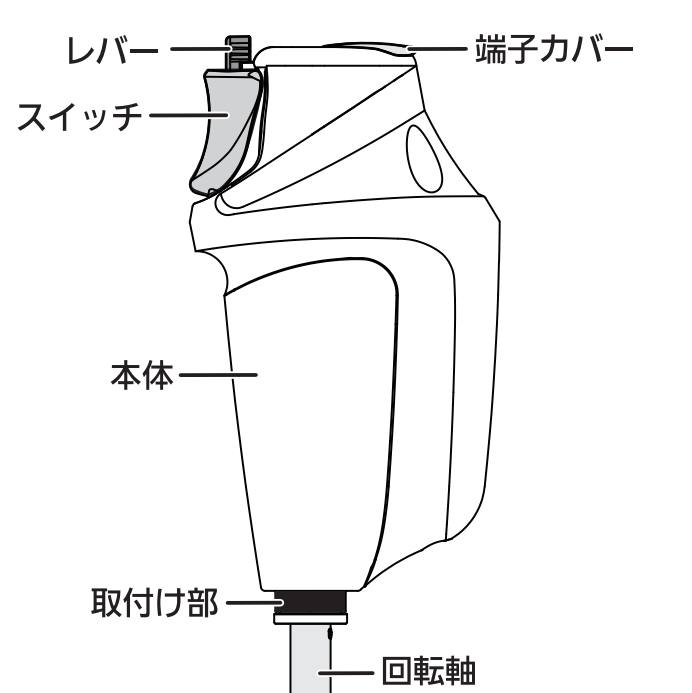
- ▲注意
- 作業中に回転軸や回転刃、回転砥石に触れない
 - ケガの原因となります。
 - 本機に重いものを載せたり、乗ったりしない
 - ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。
 - 炎天下の車内や暖房機のそばなど温度の高くなる場所で保管しない
 - 強い衝撃を与えたりしない
 - 発熱・発火・破裂の原因となります。

ご使用上の注意

- 回転数が極端に落ちるほど、無理に押し付けしないでください。
- 付属の包丁ユニットは乾式のため包丁を砥石に当てすぎると焼けが生じる場合があります。
- 初めてご使用になるとき、長期間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。
- 長期間ご使用にならないときでも 1 年に 1 回は充電してください。
- 防凍ゴムを細い針等で傷つたり無理に取り外さないようにしてください。(防水性を損なうおそれあり)
- 防凍ゴムを接着剤で固定したりしないでください。(破損のおそれあり)



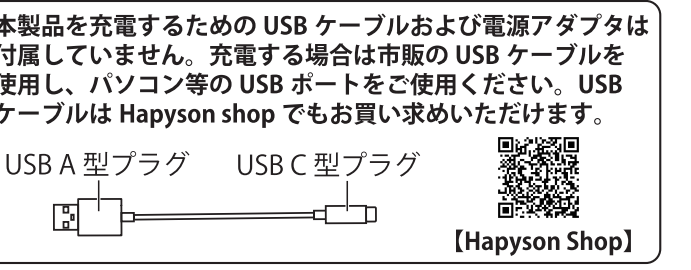
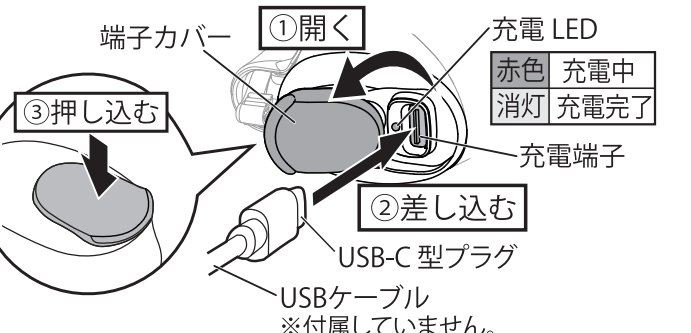
各部のなまえ



充電のしかた

充電のしかた

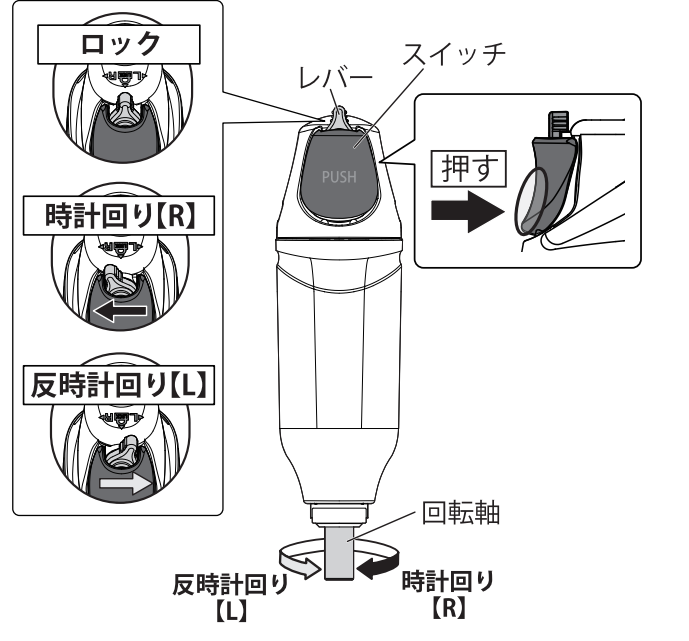
- ① 端子カバーを開く
 - ② 電源のつながっている USB ケーブルの USB-C 型プラグを充電端子に差し込む
 - ③ 充電完了後、USB ケーブルを抜き、端子カバーを元の位置にしっかりと押し込んで閉める
- ※しっかりと押し込まないと防水性を損なうおそれがあります。



基本操作

基本操作

- ① 回転軸の回転方向を決めて下図に従いレバーを操作する
※ ロックの位置にあるときはスイッチを押しても作動しません。ご使用にならないときはレバーをロックの位置にしてください。
- ② 下図のスイッチの 〇箇所を押し続けると回転軸が回転し、スイッチを離すと回転が止まる
※ 充電中にスイッチを押しても作動しません。



使いかた (包丁研ぎ)

ご使用いただける包丁の種類

- ステンレス製 / 鋼製 / 割り込み包丁の研ぎにご使用ください。
※ 次のような刃物には使用できません。
セラミック、チタン製の包丁 / 果物ナイフ / 和包丁 / パン切り包丁 / 冷凍ナイフ / 包丁以外の刃物 (ハサミ等)

事前準備

- ① 回転軸の差し込み口に回転砥石を差し込む
※ 「カチッ」と音がするまで奥へ差し込んでください。(磁力で着脱する仕様です。)
- ② 砥石カバーの上カバーを本体の取付け部に差し込み、下カバーにはめ込む
※ 本体の向きは右図の向きに合わせてください。
※ クリック感があるまで奥へしっかり差し込んでください。

包丁研ぎの使いかた

- ① 持ちかた ※机等の平らな場所に置きながら使用してください。



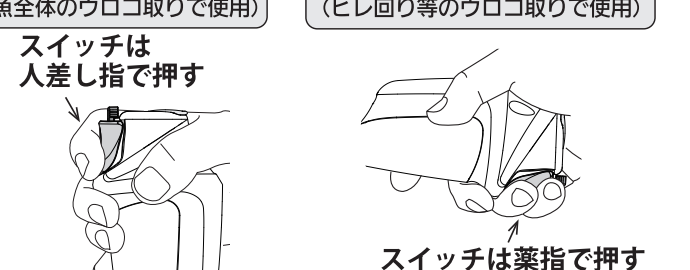
使いかた (ウロコ取り) ※以下の説明は右利き用の説明です。利き腕に応じて魚の向き、回転方向は使い分けてください。

詳しい使いかたはこちらからもご確認ください。

事前準備

- ① 回転軸の差し込み口に回転刃を差し込む
※ 「カチッ」と音がするまで奥へ差し込んでください。(磁力で着脱する仕様です。)
- ② 刃先カバーを取付け部へ差し込む
※ クリック感があるまで奥へしっかり差し込んでください。

ウロコ取り時の本体の持ちかた



ウロコ取りの手順

魚全体のウロコ取り

- ① 魚の頭部を右図のように手で固定しウロコを取る



- ② 魚を右図のように裏返して反対側も同様にウロコを取る



- ③ 頭部を固定している指を回転刃で巻き込まないように注意しながら作業してください。

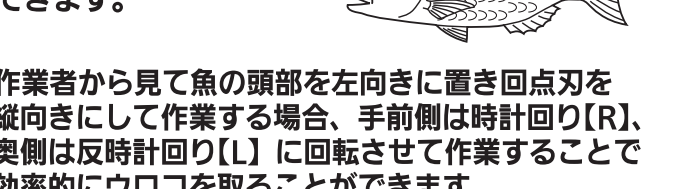


効率的なウロコの取りかた

- ・以下のイラストは説明のため刃先カバーを省略しています。
- 基本的には回転刃を縦向きにして作業し、ウロコが取りにくい部位 (ヒレ周り等) は回転刃を横向きにご使用ください。



- 回転刃を尾ビレ側から頭部側に動かすことでウロコを取ることができます。



- 作業者から見て魚の頭部を左向きに置き回転刃を縦向きにして作業する場合、手前側は時計回り[R]、奥側は反時計回り[L] に回転させて作業することで効率的にウロコを取ることができます。



製品廃棄時の電池パックの取り出しかた

- ※製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- ※金放電済みでスイッチを押しても作動しないことを確認してから電池パックの取り出しを行ってください。
- ※止めネジの取りはずしは市販のプラスドライバーをご使用ください。

- ▲危険
- 取り出した電池パックは再利用しない
 - 取り出した電池パックで以下のごとはしない
 - ・火中投入、加熱、水中投入しない
 - ・くぎを刺したり、衝撃を与えたりしない
 - ・金属線と一緒に持ち運んだり保管しない
 - ・コネクタ部に金属物を接触させない
 - ・分解、改造しない
 - ・直射日光のある場所や高温の場所に放置しない
 - 発熱・発火・破裂の原因となります。
- ▲警告
- 電池が液もれしていたり、異常がするときは火気より遠ざかる
 - ！液もれした電解液に引火し、破裂・発火の原因となります。

- ① 下図のようにスイッチを取りはずす
- ② 下図箇所の止めネジを 3 本はずす
- ③ A 部を開いてコネクタを引き抜く
- ④ 下図箇所の止めネジを 3 本はずす
- ⑤ 内カバーを上にあけて電池パックを取り出す

- 使用済み電池の届け先
- 家電のリサイクル協力店へ
 - 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
HP: <https://www.jbrc.com>